

第5話「わたしたちの防災」(再生時間：5分26秒)

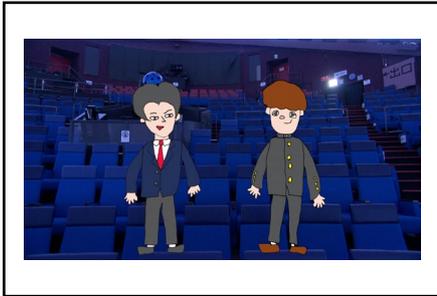
イソゴ：やっぱ子ども宇宙科学館のプラネタリウムは違うな！

ハマノ：それにしても俺たち防災に関する知識が増えてくな

イソゴ：だな。プラネタリウムの星のようにな！

ハマノ：あ、全然上手くない…。

でも実際みんなどのくらい知ってるんだろうな



ハマノ&イソゴ：あっ！

イソゴ：きたきたきたー！

ハマノ：テンション上がってるなあおまえ…

サイミ：B!O!B!O!防!防!災美!

みんなが大好き!防!防!災美!

サイミ&イソゴ：いえーい!!

ハマノ：何この二人

サイミ：私は防災のことなら何でも知っている天使・防災美よ!

イソゴ：待ってましたサイミちゃん!

ハマノ：あなただけね

サイミ：まあそんなことを考える時期が

そろそろ来るだろうなと思ってたわ…

ハマノ：思春期みたいに言わないで



サイミ：ということで、実は私サイミが今回実際の中学生に防災
についてのインタビューを行ってきたわ!

イソゴ：いやあなんでもできるなサイミちゃんは!よっ!

ハマノ：持ち上げるねえ…

サイミ：日頃の防災に関する取組みについて聞いてみたわ



中学生：缶詰とか、あと水を入れるだけで出来たりするような
食料を溜め込んでます。乾燥したお米とカレーに水
を入れて、1分放置するとカレーができる

ハマノ：そんなのあるんだ!

中学生：いつも家で作ってるような味と変わらなくて
美味しかったです

イソゴ：食べてみたい！



中学生：家族と集合場所は決めています
電話とかが出来なくなっちゃうかもしれないので、
決めておくと会えないことがちょっとなくなるかなと
思って決めています

ハマノ：離れ離れになるのは怖いよなあ…



中学生：家族の写真を持って、避難場所でもし会えなくても
この人が私の家族ですって言えるようにしています

イソゴ：俺も持っておこう！

サイミ：被害を最小限に抑えるためのこんな工夫も！



中学生：大きい地震が起きても物や棚とかが落ちてこないよう
にするための対策をしたり…

中学生：本棚だったら重い本、厚い本を下に置いて軽い物を上に
置くとか

イソゴ：俺もやってみようかな！

サイミ：災害は中学生でもやっぱり不安…



中学生：災害が起きた時冷静でいられるかっていうのが不安で
す。焦って変なことしないかなっていうのが1番の不
安です

ハマノ：みんなも不安なんだな～

イソゴ：俺も日頃の備えをしっかりしよう！

サイミ：でもだからこそ災害時に何が出来るか考えてくれてる
みたい！



中学生：まず落ち着くことが一番大事かなって思います
それと水や火を止めて、大きな被害が出ないように
する事が大切だと思ってます



中学生：自分の安全をまず守って、その後周りの人とか困ってる
人のこと助けられたらなと思ってます



中学生：荷物を運んであげたりとか迷子の人たちを助けてあげ
たりとかそういう風に何でも助けてあげたいです



中学生：人の誘導とか、人に対しての声掛けだったりとかは
何でもできると思います

イソゴ：家でゲームばかりしてる自分が恥ずかしくなってきたよ…

ハマノ：いや泣かなくてもいいよ

サイミ：最後に防災において何が大切なのか聞いてみたわ



中学生：協力することですね。
近所の人とか避難所で出会った人とも協力して少しでも
困った事とか知識を分け合って、困った事があれば
助け合うことができると思います

サイミ：とはいえ！一度に全部やれっていうのも無理な話…。
まずは知ること。知りたいと思うことから始めて、一つ
一つ覚えていってほしい。

ハマノ&イソゴ：分かりました！



サイコ：もしもの時はあなたの心のサイミちゃんを
また呼んでね♡

イソゴ：…サイミちゃん！？サイミちゃんに渡したい物が…！
ああサイミちゃーん…

ハマノ：泣きすぎだよさっきから

イソゴ：うう…サイミちゃん…

ハマノ：泣きすぎだって、すごい見てるから…

イソゴ：サイミちゃんの家どこなの…

ハマノ：家とか突き止めようとしなくて

ハマノ：また来るかもしれないから…ね？

イソゴ：でもあれだな、防災について色々勉強になったな！

ハマノ：ま、確かに。

じゃあここでポエムを一つ

イソゴ：は？

ハマノ：災害時にまず動かさなきゃいけないのは、手でも足でも」
なく、“人の心”なのかもしれない…。ハマノ

イソゴ：ハマノ！？

ここで新しいキャラ設定やめてもらっていいかな

ハマノ：ごめん冗談、冗談、

まあ俺たちもできることから始めようぜ！

イソゴ：そうだな！

よ～し、俺は地域の防災訓練に参加するぜ！